意見交換：子どもへのまなざし運動「大人の行動指針」改訂に向けて 意見まとめ

テーマ：子どもの主体性を育むために必要な大人のかかわり方とは何か

出された意見を、4つの大分類と、それに属する14の小分類に整理した。

01 大人のあり方と子どもへの関わりを見直す

- 子どもの権利・人格と気持ちを尊重する
- 大人が責任を持ち、必要な説明や声かけをする
- 大人の価値観・常識・偏見を見直す
- 大人自身が関心を持ち、主体的に関わる

「まず、承認する！」「常識、情報のアップデート」「大人の出番ですよ！」

02 子どもの声・発想・選択を起点に、対話し、見守る

- 子どもの声を聴き、思いを引き出す
- 子どもの選択・自己決定を尊重する
- 子どもを信じ、待ち、見守り、伴走する
- 子どもの自由な発想を生かす

「『待つ』と『聴く』」「子どもの決断を尊重する」「伴走の距離感」

03 子どもの挑戦を支え、共に取り組む

- 失敗を学びと捉え、繰り返し挑戦できる環境をつくる
- 子どもの「やってみたい」を支え、体験・挑戦・活躍の機会をつくる
- 大人と子どもが共に楽しみ、遊び、活動する

「『やってみたい』ことに背中を押す」「大人も一緒にやってみる」

04 社会全体で安心とつながりを支える

- 子どもや保護者が安心して過ごし、必要な相談・支援に繋がれる環境をつくる
- 日常の交流や地域活動を通じて、世代を越えたつながりをつくる
- 家庭での対話・関係・教育を大切にする

「親が安心して子育てできる社会」「地域での見守り、あいさつが大切」

今後の対応　現行の行動指針と照らし合わせ、改訂内容の検討を進める。